

たまのまちづくり通信

新テーマ

～「新・人流港」へ!～

人が集い交流する瀬戸内の港町 玉野

発行：玉野市中心市街地活性化協議会事務局

〒706-8533 玉野市築港 1-1-3(玉野商工会議所内)

TEL:0863-33-5010 FAX:0863-31-5558

E-mail:info@tamanocci.jp<http://www.tamanocci.jp/ccam/>

発行日：平成23年 1月



玉野市中心市街地活性化協議会運営会議



平成21年4月30日に「玉野市中心市街地活性化協議会」を設立し、平成18年に改正された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき、策定作業を進めております。昨年1年間は主に、毎月1回開催されます運営会議の席で広域交流拠点整備部会・商店街活性化整備部会・商業施設活性化整備部会・どてきり部会・いしいひさいち部会・アート部会およびみなと部会の7部会の事業計画の進捗状況について報告を行い、その上で、課題について協議を行いました。

また、中心市街地活性化事業の最大の核となる宇野駅南東部の遊休地から築港商店街および市役所・メルカ周辺に、来街者にどのようにして回遊していただくのかを協議しています。

玉野市におきましては、平成23年7月の「玉野市中心市街地活性化基本計画」の国の認定を目標に素案の策定作業を進めており、今年度末には完成の予定です。

玉野市中活協タウンマネージャー 出口巴幸氏新春抱負

約3年前から玉野のまちづくりについて市民の皆様と研究してまいりました。港町として発展してきたこのまちの中心市街地は、厳しい社会経済環境のなかで苦境にあり、従来からの延長線ではなく、新たなまちづくりへの取り組みが必要とされていることが解りました。ここにしかないまちの価値を活用し、市民の新たな交流と広域からの新たな交流を生む新しい港町の創港こそが、重要であるという結論を得たわけです。各部会では具体的な事業化が検討され、多くの力強いまちづくり事業がいよいよこれから展開されていきます。生みの苦しみはありますが、市民の熱意と知恵、努力、共労で乗り切り、玉野のまちづくりを成就しましょう。

“玉野市中心市街地活性化協議会研修会を開催”

昨年12月16日(木)、米子市中心市街地活性化協議会 事務局次長 大野原円氏を講師に迎えて(独)中小企業基盤整備機構共催のもと、玉野市中心市街地活性化協議会研修会が開催され、中心市街地活性化事業の先進事例であります米子市の事例について講演いただきました。

広域交流拠点整備部会

(青井一令部会長)

広域交流の要として玉野市の新たな魅力を創出する新集客拠点を整備します。



宇野駅南東側に位置する 5.1ha の遊休地について、地権者である宇野港土地(株)がホテル・温浴施設を核とした有効利用を計画しています。

温浴施設については、建物は純日本風の平屋建てでバリアフリー対応を予定しています。

また、ホテルは、ビジネスユースとリゾートユースで建物を分けたものを予定しています。

商業施設活性化整備部会

(北野良介部会長)

地域の買物拠点であり、地域商業・生活の要である。

生活者ニーズが変化する中で、的確に特性をつかみ地域密着性の充実を図ります。



ショッピングセンターメルカは、地域の買い物拠点であり、地域商業の要であります。

しかしながら近年、大型商業施設が相次いで出店することにより競合が激化し、また生活ニーズが変化する中で空きスペースが目立ってきました。不足業種や不足機能等を強化することによって、地域需要に応えたショッピングセンターの活性化を図ります。

また、併設の大型店やそのデベロッパーと連携することにより、施設の活性化を進めていきます。

どてきり部会

(吉本 誠部会長)

玉野の幻のカニ「どてきり」を復活！新しい特産品作りに奮闘中です。



昨年7月に業務委託先の(有)よし将へ水槽の設置を行い、陸上での養殖実験をはじめました。昨年12月までに水槽で養殖実験中のどてきりは30匹のうち7匹は脱皮をして400gのものが800gに成長しました。(左の写真は、脱皮前と脱皮後の比較。)しかし、その7匹のうち2匹は脱皮中に共食いされてしまいました。

また、中間育成については現段階にてデータが世界中にないのでデータを集計中です。

今年は、「玉野産」のどてきりを完成できるように努力奮闘中です。

いしいひさいち部会

(伊達元英部会長)

ののちゃんの絵を玉野全体へ。



新展覧会場予定地



巡回展覧会風景

「ののちゃん」が市のイメージキャラクターになりました！

昨年4月より瀬戸内国際芸術祭の会期に合わせる形で10月末日まで、築港商店街の旧なんば家具店で玉野市出身漫画家「いしいひさいち先生」本人全面協力のもと「いしいひさいち展覧会」を開催しました。

また、12月1日(水)～2月末日まで新企画としてさらに皆様に「いしいひさいち」氏ワールドを堪能していただこうと「いしいひさいち市内巡回展覧会」と題して市内の各施設をお借りして展開しています。必見ですのでぜひお越しください！

さらに、3月からは、玉野市築港2丁目のダテビル(おかやま信用金庫玉野営業部交差点向側)の2Fに会場を移しさらに楽しくリニューアルオープンいたします。

「玉野市出身いしいひさいち市内巡回展覧会」開催中

～皆様の街におじゃまします！～

- ▶ 1月上旬(市役所ロビー・玉屋東兎店)
下旬(市役所ロビー・JR宇野駅)
- ▶ 2月上旬(レクレセンター・玉野自動車教習所)
下旬(おかやま信用金庫玉野営業部・和田支店)

アート部会

(齊藤章夫部会長)

アートを活かした美しいまちづくりを実現し、中心市街地における活性化と賑わい創出に資する活動を行います。

昨年1月に実施された「中心市街地活性化の取組みに対する診断・助言事業」報告会において、「アートを活用したまちづくり」の重要性が指摘されたことをきっかけに、4月部会が設立されました。アートを活かした美しいまちづくりのあり方と実現の方策について協議を行ってまいりました。

また、昨年12月4日(土)、賑わい創出拠点(産業振興ビル南側)に「楽彩工房」(NPO法人「楽彩工房 TAMANO」 佐々木守代表)がオープンしました。

音楽・アートイベントを中心とした多目的ホールに、カフェも併設されています。さらに、毎月第3金曜日には、3rd Friday Concertを開催いたします。皆様、ぜひ足をお運びください。



営業時間

ホール(10:00~22:00)イベント内容に応じて変動
カフェ (9:00~18:00)コーヒー・紅茶・カレー他
月曜定休(但し、祝祭日の場合は翌日)

みなと部会

(三宅定子部会長)

宇野港ウォーターフロントの賑わいづくりを行います。



『「新・人流港」へ!』をテーマとしたまちづくりを望むにあたり、昨年5月、玉野の特性あるまちづくりには欠かせない『みなと部会』を設立し、宇野港一帯の活性化を図るため、これまで8回の部会を開催して参りました。

当部会では、各部会と連携し、宇野本港のウォーターフロントを中心とした「集客の仕組みづくり」に取り組み、人と人とのつながり・交流が図れる、特性ある「みなとまちづくり」を目指し、「みなとま

ち玉野」をより発展させていくことを目的に、**次の9つの事業案をまとめました。**

- ①ビジターバース事業(ビジターバースの必要性を実証するため利用者へのニーズ調査)
- ②宇野港アート関連支援事業(教育的観点事業)(児童・生徒《美術部など》対象「みなとギャラリー」を整備)
- ③ロケーション事業(第一突堤周辺にてロケーションを実施)
- ④宇野港ポートセールス強化事業(大型・中型客船や自衛艦等の寄港誘致と広域クルーズの構築)
- ⑤宇野港観光事業(「たまの産・観・美ツアー」の新バージョンツアーの実施)
- ⑥情報発信事業(PR事業)(外国人等への宇野港・玉野市のPRのためのマップ作成とITによる情報発信事業)
- ⑦玉野市活性化PR事業(ラッピング事業)(公共交通機関へのラッピング)
- ⑧宇野港第二突堤護岸整備事業(「親水性」を持たせた護岸整備事業)
- ⑨第二突堤アクセス整備事業(水に触れることが出来る護岸へのアクセス整備)

また、第8回部会では、国土交通省中国地方整備局港湾空港部部長 高田昌行氏をお招きし、「瀬戸内海を通じた観光振興」と題し、観光交流による経済効果や、瀬戸内海沿岸の自治体で構成する協議会の取り組みについてのお話をいただきました。「沿岸の官民を結びつけるのが私たちの役目。瀬戸内海のブランド化に向け、皆さんと力を合わせたい」と呼びかけられたのに対し、宇高航路、瀬戸内国際芸術祭、マリンスポーツなど様々な角度からの意見が出され、港を核とした賑わい創出策を議論しました。